

関西弁や標準語 音声を変換

NTT、研究など紹介

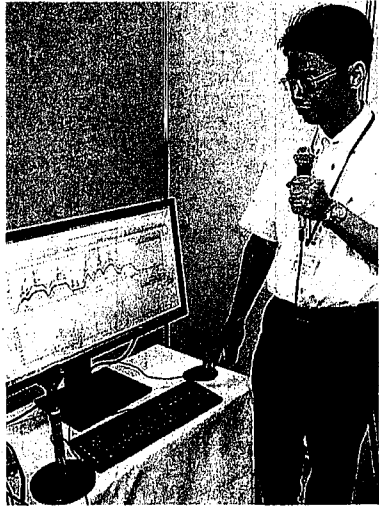
NTTコミュニケーション科学基礎研究所の一般公開を始めた。音声を方言に変換できる技術や音の聞こえ方に関する研究などを紹介している。

「オープンハウス」として、データ解析や言語認識など30テーマ

の研究をパネルやデモ機で説明している。

NTTは4日、京都府精華町光台の関西文化学術研究都市にある

音声変換技術では、



音声を関西弁や標準語などに変換できるシステム
(京都府精華町光台・NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

イントネーションを調整することで関西弁や標準語に変えることができる。人の自然なしゃべり方まで再現しており、将来は喉に障害がある人の音声を明瞭にするサビラスなどを計画している。

別の研究では、電話やブザー音など目立つ音を聞くと瞳孔が拡大することが分かり、音を使った宣伝への応用を検討している。人の話を高精度に文章化する技術や、スポーツ選手の動きを音に変えて練習に生かすシステムもあり、来場者の関心を集めていた。

5日まで。入場無料。
(三村智哉)